

1 ISSUE 地域の状況

地域課題：地域資源のさらなる有効活用

- ✓ 農業・地域産業・地域コミュニティなど幅広い分野で担い手不足
- ✓ 地域に関与し、地域を支える担い手となる人材が不足

APPROACH 仕組みの整備

取組内容：副業制度（個人事業主型）の導入

- ✓ 行員が有する専門性や地域理解を、副業という形で地域に還元できる仕組みを整備
- ✓ 副業を、地域活性化や文化・社会活動への貢献も期待する制度として位置づけ



2 PRACTICE 行員による具体的な副業事例

CASE ①

地域農業の現場へ参画

- ・ 農業の現場に直接参画し、担い手不足や高齢化といった実情を把握
- ・ 作業や運営に関わる中で、課題や構造を現場目線で理解
- ・ 銀行で培ったビジネス視点を活かし、DX導入や仕組みの高度化による課題解決に取り組む



CASE ②

ブルーベリー観光農園運営

- ・ 地元有志により2006年に立ち上げ、「後世に残る地域ブランドの創出」を目指し事業を開始
- ・ 栽培から販売、運営まで一貫して関与し、収益モデルをどのように構築するかを実践的に理解
- ・ 兼業でも運営可能な仕組みと組織体制を整備し、持続的な事業運営を実現
- ・ 雇用創出や地域の小学校との交流などを通じ、地域経済、コミュニティへの波及効果を創出



3 OUTCOMES 効果 — 地域と銀行の好循環

FOR REGION

地域産業への効果

- ・ 農業分野を含む地域活動において、人材不足の補完や遊休資源の活用に寄与
- ・ 行員の関与を通じ、作業管理や経営状況の可視化など、DX化の検討が進む可能性
- ・ 地域住民との交流を通じ、関係人口の形成・地域コミュニティの活性化に貢献



FOR BANK

銀行への効果

- ・ 行員が地域産業の課題を直接把握できる
- ・ 多様な価値観や創造力を持った人材の育成
- ・ DXや業務効率化の必要性を実感し、課題解決型支援・提案内容の高度化へつながる
- ・ 地域と銀行の双方に価値が還流する「好循環」の創出を期待